

## 十五 大日本婦人教育会

昭和五年一月二十五日、大日本婦人教育会の新年の総会で講演することになりました。閑院宮妃殿下が総裁、佐賀の鍋島侯爵の母堂が会長、山脇房子先生はじめ、日本の代表的な女流教育者が会員になっておられる会でした。これは山脇房子先生のご紹介でした。山脇先生には清浦奎吾伯爵（当時は子爵）の奥さんのご紹介でした。会場は東京神田の共立女子専門学校でした。その学校の生徒たちも出席して大きな講堂は満員でした。私の前に講演したのは、大島一鶴とかいう落語の名人で有名な人でした。後で聞いたことでしたが、鍋島侯爵の母堂が「今日は中根さんだけにやらせたらよかった」といわれたことを聞いたのですが、山脇先生からご紹介をいただき、面目をほどこしたことでした。山脇先生は山脇高等女学校を設立して校長をしておられたので、たびたびその学校でも講演させていただいたものでした。そしてバザールのときでした。私が山脇高女のことを書いて速記文字画をつくり、手拭いにそれを染めて五百枚売り出されたところ、即日売切れ、翌日またつくって売り出されたことがあります。